

資本主義の発展と共に、地主階級の没落が不可避である。地主階級は、土地を所有し、農民から地租を徴収する階級である。しかし、資本主義の発展に伴い、地主階級は没落し、農民階級が地主階級の地位を占めるようになる。これは、資本主義の発展に伴う社会構造の変化の一例である。

農地改革の経緯と農地改革の経緯

財団法人協同會大阪支所

後、「藩閥」政府「官僚政治」の下ニブルジョアジーガソノ經濟的勢力ヲ増大シ、政治的重要性ヲ増大スルト共ニ、彼等ハソノ政治的優越性ヲモ縮少サレタ。然シ乍ラ、地主勢力トブルジョア勢力トハ帝國主義的侵略政策、對労働者農民彈壓政策ニ於テハ常ニ一致シテ居ツタシ、且ツ今日デモ一致シテキル。日本ノ國家權力ハ金融資本ガ覇權ヲ握レルブルジョア、地主ノ手中ニアル。現在ノ日本ニ於テ、工業ノ農業ニ對スル先導的地位、又ハ不在地主、地主兼事業家ノ多イロトヲ以テ、農村ニ於ケル生産關係ヲ資本家ト労働者トノ關係ト同一視スルナラバ、ソレハ救フベカラザル誤謬デアル。又現在、地主ガ資本家デアルト規定シテ、地主ガ地主トシテ有スル政治的勢力ヲ抹殺スルコトモ大キナ謬見デアル。何故ナラ、ソレヲ人々ハ、我國ニ於ケル農業問題ノ本質ヲ理解シテキナイカラデアル。現在、地主勢力ハ、權力ニ關シテハ從位ハ占メテハキルガ、併シソノ事ハ彼等ノ勢力ガ一箇ノ力トシテ存在シテキナイ事ヲ示スモノデハナイ